

## 『現代之都市美 第1回全国都市美協議会研究報告』

都市美協会 [編]

1937年5月 23cm/439頁 図書番号 OB-0389

第1回全国都市美協議会を主催した都市美協会は、渡辺鉄藏、金子馬治、田口鏡次郎、鈴木文四郎、中村鎮、島田藤、石原憲治、櫻内吉胤、池田信一、工藤栄一の10名を発起人として設立された都市美研究会をその前身とする。

都市美研究会は、関東大震災後の1925(大正14)年10月、「復興帝都における美観統制並に整齊ある都市構築の研究」を目的として設立された。その第1回研究会の研究題目には丸ビル撤廃論、品川台場利用論等が見られる。創立1周年を迎えた1926(大正15)年10月に都市美協会と改称し、初代会長を阪谷芳郎(第4代東京市長)が務めた。機関誌『都市美』の刊行や講演会などを開催し、会員は300名を数えた。

第1回全国都市美協議会は1937(昭和12)年5月、東京市清澄庭園において開催され、多くの市や都市計画委員会、関係団体などから150余名の参加があった。

協議会開催にあたっては、事前に「現代の都市美」を論題とした論文が募集された。当時、未だ都市美として扱われる対象が一定していなかったようだが、都市計画、緑地、景観、街路、環境、保健、広告、照明等に関する研究報告が寄せられた。本書にはそれら35篇と、大阪市や京都市などの都市美化運動に関する実情報告5篇が収録されている。

協議会当日には、そのうち「都市美運動の精神部門への展開 区心建設、その他」(石川栄耀/都市計画東京地方委員会技師)、「屋外広告物の取締に就て」(石原憲治/東京市建築課技師)、「都市緑地と都市美」(井下清/東京市公園課課長)、「都市生活と景観・都市美」(奥井復太郎/慶應大学教授)、「都市の品性」(奥中喜代一/神戸市都市計画課課長)、「京阪神に於ける塵芥箱に就て」(亀井幸次郎/大阪府建築課技師)、「都市美と緑化」(椎原兵市/大阪市公園課課長)、「街燈の意匠とその合理化」(関重広/東京電気(株)照明学校校長)、「警視庁管下に於ける煤煙状況」(関新四郎/警視庁工場課)の9篇が本人より報告された。

全国都市美協議会はその後、第2回大会が1938(昭和13)年5月に、大阪市美術館において大阪都市協会主催で開催された。参加者は250名を超え、「都市美昂揚の指導原理」(鳥井信/建築協会都市計画委員長)を初めとした研究発表が行われた。本大会の関連図書は、「第2回全国都市美協議会報告書」(『大阪』第14巻第7号附録)(大阪都市協会[編]1938年7月 図書番号OBZ-0814)と、研究論集「健康都市の建設」(大阪都市協会編 1938年5月 図書番号OB-0389)を所蔵している。第3回大会は1940(昭和15)年5月に、京都市岡崎公会堂において京都市および都市美協会主催で開催され、「都市に於ける新旧文化を調和せしむる方策」、「美観審査委員会設置並連絡統制に関する方策」の2議題について討議された。本大会の関連図書は、「第3回全国都市美協議会」(京都市・都市美協会[編] [1940年] 図書番号OBZ-0980)と、研究報告2篇を収録した「都市構築に於ける新旧文化調和への理論と実際」(日本建築協会[編] [1940年] 図書番号OBZ-1279)を所蔵している。

(山野辺香葉・市政専門図書館司書主任)